

2022年5月23日第81回運輸政策セミナー
「これからの鉄道沿線における持続可能なまちづくりを考える」
～with/after コロナのニューノーマル時代を迎えての戦略～
宿利会長 開会挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所 会長の宿利正史です。

本日の運輸政策セミナーでは、コロナ禍を経験した現在の立ち位置から、「これからの鉄道沿線における持続可能なまちづくり」について、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

本日も、ご多用の中、1500名を超える大変多くの皆様にご視聴の申込みをいただいております。誠にありがとうございます。

さて、我が国における鉄道整備と沿線開発の歴史を紐解きますと、まず最初は関西で、阪急グループの創業者、小林一三（こばやし いちぞう）氏により、鉄道沿線での宅地開発・まちづくりが行われ、さらに宝塚歌劇のような観光事業、阪急百貨店のような流通事業と相まって、沿線地域の発展を目指すビジネスモデルが確立されました。

一方、関東では、東急グループの創業者、五島慶太（ごとう けいた）氏により、現在の田園都市線沿線において、鉄道整備と一体的にまちづくりが行われ、多摩田園都市の発展に大きく貢献しました。

本日は、我が国のこのような豊富な経験や知見をベースとして、with コロナ、after コロナ時代における持続可能なまちづくりとは何かについて、モビリティ、エリアマネジメント、SDGsなどのキーワードを交えながら、議論を重ねていこうという趣旨です。

セミナーの前半では、先程ご紹介しました鉄道沿線まちづくりの遺伝子を今日受け継いでおられるお二人の方に、「サステナブルな沿線まちづくり・モビリティ」と題して、ご講演いただきます。はじめに、東急総合研究所・フェロー主席研究員の太田雅文様に、続いて、阪急電鉄・専務取締役の上村正美様に、ご登壇いただきます。

セミナーの後半では、パネルディスカッションにより議論を深めてまいります。太田様にコーディネーターをお願いし、パネリストとして、阪急電鉄の上村様のほか、関東の

東武鉄道から山崎様、

西武グループから佐藤様、

京王電鉄から菊池様、

小田急電鉄から鈴木様、

東急グループから中村様、

京浜急行電鉄から一條様、

そして九州の西日本鉄道から野口様、

にご登壇いただきます。

皆様は、それぞれの鉄道会社で、まちづくりの第一線でご活躍中の実務責任者の方々です。

なお、パネルディスカッションの後半に質疑応答の時間を設けておりますので、質疑応答も活用して皆様のご理解をぜひ深めていただければと思っております。

最後に、本日のセミナーが、ご参加いただきました皆様にとりまして真に有益なものとなりますことを期待しまして、冒頭の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。

(以上)